

## 1 誕生

親鸞聖人は、平安時代の末、1173（じょうあん 承安3）年4月1日（太陽暦の5月21日）京都の東南にあたる日野の里（現在の京都市伏見区）で、藤原氏の一門である日野有範の子としてお生まれになりました。幼名は松若麿と呼ばれたと伝えられています。

父の日野有範は、皇太后宮大進という官職にありましたが、のちに出家して三室戸大進入道と呼ばれ、日野の南、三室戸に身をひそめられたようです。

また生母については、その名を吉光女きっこうによといい、源氏の一族である義親よしちかの息女すなわち、義家の孫にあたるといわれ、親鸞聖人が8歳のときに死別されたと言いつたえられています。史実は明らかではありません。

聖人が誕生されたころは、わが国の歴史の流れが大きな転換期に向かっていました。藤原時代を中心として長く続いていた貴族政治が、新しく台頭してきた武士の政治に変わろうとする時代でした。聖人の生まれられた年は、平家が政権をにぎって、栄華を誇っていました。しかし、1180（じしょう 治承4）年には源頼政の挙兵があり、木曾義仲が信濃に挙兵、源頼朝が鎌倉より兵を起こすなど、平家を打倒しようとする機運が起きて、都はいつ戦乱が起きるかもわからないという状況でした。

そのような事情にあ



図1-1 日野誕生院（京都市）

## ● 学習のポイント ●

## 第4章 親鸞聖人の生涯（教えと人生）

鎌倉時代に起こった宗派として、親鸞聖人の浄土真宗があります。この章では、聖人の「比叡山の修行」「法然聖人との出会い」「念仏弾圧事件」「恵信尼との結婚」「関東の伝道」などの生涯を通して、その生き方について学びます。そして、今日、人生に対するいろいろな考え方のなかで、「生きる意味とその方向性」を見つめ直してみましよう。

今後、苦難の多い人生に向かって、自己の生き方を見失うことなく、「真実に生きる」ことの意味を、深く考えてみましょう。